

ご支援に応え、公約実現、新たなたたかいに全力でがんばります—日本共産党

総選挙の結果について

12月16日に行なわれた衆議院選挙で、日本共産党は議席倍増めざして奮闘しました。残念ながら結果は、全国で改選9議席から8議席への後退となりました。選挙区では、18区・やの忠重、19区・たのうえ聡太郎も奮闘しましたが当選には至りませんでした。情勢が求める躍進を果たせなかつた事に対して責任を痛感しています。ご支援をいただいた支持者、しんぶん赤旗読者、後援会員のみなさんに、心からお礼を申し上げます。

総選挙では、自民・公明両党で320を越える議席を獲得し、自公政権が復活する結果となりました。

今回の選挙では、いま国民が緊急にその解決を求めている、「大不況のもとでの大増税でいいのか」「原発問題をどう解決するのか」「TPP問題や米軍基地、領土問題など、外交にどう取り組むのか」が問われましたが、民主はもちろん、自民党もこれらの問題を打開する答えも展望も明らかにする事が出来ませんでした。その問題についても、その帰趨を決めるのはこれからの国民のたたかいです。私たちは、総選挙で掲げた公約の実現のために、新しい国会で、また国民運動と共同して、全力を尽くす決意です。

古い自民党型の政治が壊滅的危機にあるにもかかわらず、また党員・後援会員の皆さんの燃えるような奮闘があつたにもかかわらず、この選挙でそれを議席に結びつける事ができませんでした。力不足をあらためて痛感しています。日本共産党の力の根源である「草の根の力」を一層強く大きくするために、今後も力を尽くします。

新しい政治を求める国民の探求も、様々な政治的体験を積み重ねるなかで、発展しています。この総選挙で、最後まで「どの党に入れたらいいか迷っている」との声が、たくさん聞かれ、実際に、前回よりも1千万人の方が棄権しました。国民の間で、新しい政治を求める模索の過程が現れています。しかし、どんなに古い政治が行き詰つても、それは自動的に崩壊し、変わる訳ではありません。日本共産党は、来年夏の参議院選挙めざし、捲土重来を期してがんばります。今後とも、ご支援をよろしく願います。

18区選挙結果

やの忠重	共	21500
遠藤 敬	維	100312
神谷 昇	自	83288
中川 治	未	24467

19区選挙結果

田上聡太郎	共	9606
丸山穂高	維	65158
谷川とむ	自	50242
長安 豊	民	42554
豊田隆久	諸	1957